

GSユアサ

～革新と成長～ —100年の蓄積技術— 未来を動かす原動力に

100周年記念対談

GSユアサは、日本の蓄電池の礎を築いた社であるGS（日本電池）とユアサコーポレーションが2004年に経営統合して誕生した。17年から18年にかけて、前身の2社の設立から100年を迎える。鉛蓄電池ではコロバルで2位のポジションを占める。リチウムイオン電池は自動車から宇宙、航空、深海、各種の産業分野まで幅広く供給されている。次の100年に向けて動き出したGSユアサの現状と将来像についてGSユアサの村尾社長と日刊工業新聞社長の井水治博が対談した。

井水 設立から100年、いかががでしょうか。 (現 依田誠会長) か月になるか、ならないか。 (後は頼むよ) とか、かかっていますか。 (後) 村尾 ありがとうございます。 100周年を迎えると思えます。 前任の依田 時は、2015年の3

GSユアサ社長 村尾 修氏



井水 17年度は、3 己資本利益率 (ROE) 外売上高比率は50%を幅広いですね。今後の (HV) 向けは、ホンダの第4次中期経営 (E) 向上に注力する目 超えており、第3次中期 鉛蓄電池、リチウムイオン電池、EV化が拡大して、計画 (16年4月～19年) 標を掲げています。 計の頃からは劇的に増 3月の折り返しの年 替が変動しても19年3 になりませんが、計画の 進捗はどうかですか。 4月1日 いて教えてください。 20年以降に

リチウムイオン電池第2の柱に 強み生かし最高品質追求

井水 海外展開も進んでいて、リチウムイオン電池の生産は、海外の工場で行っています。 現在、自動車の始動用は鉛蓄電池です。鉛蓄電池はリサイクルシステムが整備できています。ただ、20年以降は、EV化が拡大して、EV用の次世代リチウムイオン電池の研究開発を進めています。 現在、自動車の始動用は鉛蓄電池です。鉛蓄電池はリサイクルシステムが整備できています。ただ、20年以降は、EV化が拡大して、EV用の次世代リチウムイオン電池の研究開発を進めています。

井水 産業用のリチウムイオン電池の強みは、容量は変わりますが、宇宙ステーション (I 意志を感じます。 外展開は、いかががですか。 「GSユアサブランド」の高付加価値電池を、ルコから北アフリカ、中東、東欧にも供給できる予定です。 現状は、グループのインドネシアなどから英国にある産業用鉛蓄電池の生産子会社へ電池を運び、欧州各国にある自動車用の販売拠点を網羅して、今後は、欧州大陸全土を50%取得しますが、今後は欧州により近いトルコから陸送することも考えています。

次世代開発 充放電寿命伸ばす

井水 消費地に近い 行くようにします。 今 だけでですが、ホンダ 応じていきます。 か。 「GSユアサ」の三つ があります。 I R 説明 会でも統一しないのか と質問を受けることも あります。 例えば、東 南アジアで「YUASA Δ」といえばオートバ イ、「GS」は自動車 用というイメージがあ りますから、その優位 性を生かした方がい い。 井水 次世代の電池 開発は、いかががし

価値創造続ける



井水 消費地に近い 行くようにします。 今 だけでですが、ホンダ 応じていきます。 か。 「GSユアサ」の三つ があります。 I R 説明 会でも統一しないのか と質問を受けることも あります。 例えば、東 南アジアで「YUASA Δ」といえばオートバ イ、「GS」は自動車 用というイメージがあ りますから、その優位 性を生かした方がい い。 井水 次世代の電池 開発は、いかががし

日刊工業新聞社社長 井水 治博

井水 消費地に近い 行くようにします。 今 だけでですが、ホンダ 応じていきます。 か。 「GSユアサ」の三つ があります。 I R 説明 会でも統一しないのか と質問を受けることも あります。 例えば、東 南アジアで「YUASA Δ」といえばオートバ イ、「GS」は自動車 用というイメージがあ りますから、その優位 性を生かした方がい い。 井水 次世代の電池 開発は、いかががし

未来、咲く。 電池の革新。



おかげさまで100周年。
私たちの使命は、人類の進歩を支え、
あらたな時代を切り拓き、お客様の笑顔を咲かせること。
GSユアサはこれからも、感謝と挑戦の心を胸に
進みつづけてまいります。



GSユアサの前身である日本電池は2017年1月17日、ユアサコーポレーションは2018年4月13日にそれぞれ設立100年を迎えます。

株式会社 GSユアサ www.gs-yuasa.com/